

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R6年12月25日				
リカバリーくすくす		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用定員を制限する措置 ・利用定員が走り回りたいタイプでなく、静かな環境で過ごしやすい児童が集まった為問題ない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・昼休・身体明けの職員が子供の保育場の決定が遅れている為業務遅延出ていない状況	・減らせる職員がいいため、既存職員での運営をせざるを得ない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、事業の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・誘導等を設置、道標指示がわかるように工事した	・構造上バリアフリー化できる場所がなく難しい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を欠かさず行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・一人になりたいと申し出があった時や、大声など良い時にはクールダウン出来るように配慮している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○		・毎日終礼で支障の確認、現状すり合わせを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・意見を真摯に受け止めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・終礼、朝礼での意見交換、パート職員には個別に意見を聞いている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・設置はしているが、交流はない	・改善するところがあればしたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・積極的に参加、受講している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・SNSなども利用し、時間問わず相談できる環境を作っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・全職員が意見を出し、自分らの考えを発表、共有している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・新しく支援計画を作った時、朝礼で何個かの支援計画を充実させるため個々に一日の目標を決め、行っている	
	15	こどもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・他論案に考えている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のあらゆる支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・しっかりと話し合いの上、入れている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・担当など決め、事業所なりのカラーでプログラム作り出来ている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・継続支援と、スポーツ支援がある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・勿論行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の予告や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・勿論行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・勿論行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・勿論行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・勿論行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・勿論行っている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力をつけるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		・積極的に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、児童福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者を通して医療に情報提供をし、その後の意見、考察を情報共有している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	○		・学校にも協力してもらっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育園、幼稚園に出向き情報を共有している	
	30	子供を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	○		・放デイ利用者の就労支援面談には向き、今後の意見や、今までの特性を含め話し合いに参加した	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・研修は参加している
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・公園などで他児とのかわりはある
	33	《自立支援》協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・勿論行っている	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、事業所に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアトレを行っているが、保護者はほとんど来ていない様子。一度では完成しない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・勿論行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の要約の尊重、こどもの最善の利益の最優先の観点を超えて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・勿論行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・勿論行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・SNSなども利用し、時間問わず相談できる環境を作っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・エリア運動会を毎年実施、兄弟の参加も増えた	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付を丁寧にし、それに関し職員へ指導、助言を行った	
	42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動観察や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・勿論行っている	
	43	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	○		・勿論行っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・勿論行っている	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を回っているか。		○	・プライバシー保護のため積極的に行う事はない	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・勿論行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・勿論行っている	
	48	事前に、商業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○		・てんかん持病者が多い為、てんかん発作のタイプを聞き出し、保護者と患児の様子の違いを情報共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーに関して、医師の指導がある児童は特に気を遣っている。その為食品に含まれている、食品に含まれている同じ工場で作られている、の表示も確認して食品の提供をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・過去の事故も踏まえ更に起きないよう、打合せ、危機管理を徹底している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・勿論行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・勿論行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・勿論行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかなについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束該当者なし	